

サウムの手引き



サウムの手引き



信じる者たちよ。
あなたがた以前の者たちにも定められたように、
あなたがたのために齋戒が定められた。
それであなたがたも、畏れる者となるだろう。

アル=バカラ 雌牛 2章 183 節
『クルアーン 日本語読解』より



トルコ共和国宗務庁

本書は、トルコ共和国宗務庁出版の
「ORUÇ Sıkça Sorulanlar (サウム / よくある質問)」の記述を参考にしています。

Ⅰ サウム（齋戒、断食）の英知

アッラー（ジャッラ・ジャラールフ）¹の命令も禁止も、そのすべてはしもべたちのためです。イスラーム²におけるすべての規範には英知が秘められています。この点について、すべてのイスラーム学者たちの見解は一致しています。アッラーは、しもべにとり益となることを命じ、害となることを禁じました。ムスリム³は、様々なイバーダ⁴を通して自我を抑制し、アッラーに近づこうとします。それ

1 الله جل جلاله アッラー（ジャッラ・ジャラールフ）とは、「唯一無二にして全知全能の創造主」の名である。アッラー（ジャッラ・ジャラールフ）以外にイラーフ إله すなわち「真に崇拝される存在」はない。アッラー（ジャッラ・ジャラールフ）以外のすべては、このお方によって無から創造された。アッラー（ジャッラ・ジャラールフ）は何ものをも必要とせず、完全に自存する存在である。すべてのものはことごとくアッラー（ジャッラ・ジャラールフ）に属する。このお方は産みもせず、産まれもしない。このお方に匹敵する、または似ている何ものも存在しない。このお方は常にすべてを見ており、聞いている。このお方は、色や形、大きさや重さ、感情、時間や空間の概念など、被造物的な属性のすべてを超越している。アッラー（ジャッラ・ジャラールフ）以外の何ものも、このお方の本質を理解することはできない。

「ジャッラ・ジャラールフ」とは、直訳すると「このお方の偉大さは偉大である」の意であり、比喩的には「このお方は偉大である」の意である。アッラー（ジャッラ・ジャラールフ）の名を唱えたり、耳にしたりしたときに唱える。以下、一部を除いて文中での表記は省略する。

- 2 الإسلام イスラームとは、アッラーが遣わしたすべての預言者によって伝えられてきた真理の教え。私たちの預言者によって伝えられた教えが、イスラームの完成形である。
- 3 مسلم ムスリムとは、イスラームを受け入れた者のこと。いわゆるイスラーム教徒。
- 4 عبادة イバーダとは、ある存在に対する服従の意思を示し、その存在のためになされる行い、崇拝行為のこと。アッラー以外に崇拝に値する存在はない。よって、アッラーに対する崇拝は「真の崇拝」であり、他の何ものかに対する崇拝は「虚偽の

はイスラームにおける英知のひとつです。イスラーム学者たちは、アッラーが定めた様々な規範における英知を解き明かす努力を続けてきました。これらの英知の中には、私たちに理解できるものもあれば、私たちの理解を超えているものもあります。

サウム⁵における英知のひとつは、ムスリムがタクワー⁶を手にする機会を得ることにあります。このことについて、聖クルアーン⁷には次のように記されています。

「信じる者たちよ。あなたがた以前の者たちにも定められたように、あなたがたのために斎戒が定められた。それであなたがたも、畏れる者となるだろう。」⁸

サウムを実践することにより、ムスリムはアッラーから与えられた恵みに満足し、感謝することを学びます。空腹にあえぐ人々の気持ちを理解し、浪費を避けることの大切さに気づきます。「(恵みに満足することは不滅の財宝である)⁹という言葉の意味を心に刻むのです。与えられなかったものについて不満をいうのではなく、与えられたものについてアッラーに感謝し、ないものねだりは失敗のもとであり、アッラーへの感謝こそが成功のもとであると知ります。

崇拜」である。

- 5 صوم サウムとは断食、斎戒のことであり、イスラームにおける5行のひとつ。ニヤを行った上で、イムサーク（サラート・ル＝ファジュルの時間のはじめ）から日没までの間、飲食や性交を完全に絶つこと。
- 6 تقوى タクワーとは、アッラーに服従し、禁じられた行いや疑わしい行いなどを避けることで、来世における懲罰から身を守ること。
- 7 القرآن الكريم アル＝クルアーン・アル＝カリーム。私たちの預言者に23年間かけて少しずつ啓示された、イスラームの聖典のこと。聖クルアーンで述べられているのは、すべてアッラーの御言葉である。聖クルアーンは、私たちの預言者に与えられた最大の奇跡である。アッラーの御満悦のために聖クルアーンを学ぶこと、教えること、朗読すること、暗記することなどはイバーダである。
- 8 アル＝バカラ 雌牛 2章183節
- 9 バイハキー、ズフド、2巻88頁

「中道を行く者が貧困に陥ることはない」¹⁰という言葉のとおり、貧困から守られた生活を送ることができるでしょう。サウムは、サフル¹¹、イフタール¹²、サラートウ・ツ＝タラーウィーフ¹³、その他のイバーダと合わせて、アッラーの御満悦を得るために費やす時間を増やす機会になります。

サウムの月であるラマダーン月¹⁴は、ムスリムがアッラーの御加護を求め、日々の罪を悔い改める良い機会です。またラマダーン月は、ムスリムが聖クルアーンをより多く朗読し、その美しい響きに耳を傾け、その意味をより深く学ぶ絶好の機会でもあります。サウムは、身体によるザカート¹⁵のようでもあります。ザカートを支払うことで財産から不純物を取り除くように、サウムを実践することで身体の不純物を取り除かれるからです。サウムが身体にもたらす良い影響については、医学的にも知られています。人間は精神と肉体から成り立つ存在であり、ラマダーン月は、そのことをもっとも

10 イブン・アビー・シャイバ、アル・ムサンナフ、5巻331頁

11 سحور サフルとは、サウムを始める前にとる食事のこと。サフルをとることは、ムスタハップである。私たちの預言者は「サフルをとりなさい。なぜなら、サフルには祝福があるからである」と述べられている。(プハーリー、サウム、20；ムスリム、スィヤーム、9)

12 إفتار! イフタールとは、サウムを終えた後にとる食事のこと。私たちの預言者は「サウムを行う者には、2つの幸福がある。ひとつはイフタールによる幸福であり、もうひとつはアッラーの御許に到達したとき得られる幸福である」と述べられている。(ムスリム、スィヤーム、30)

13 صلاة التراويح サラートウ・ツ＝タラーウィーフ。ラマダーン月のサラートウ・ル＝イシヤーの後に、マスジドにおいて集団で合計20ラクア行ラズナナのサラート。

14 رمضان ラマダーン月はヒジュラ暦における9月。サウムの月である。

15 زكاة ザカート(喜捨)とは、イスラームにおける5行のひとつ。一定以上の財産を所有しているムスリムが、年に一度、貧困者、主人に対価を渡せば解放される奴隷、負債を抱えている者など、一定の条件を満たしているムスリムに財産の一部を支払うこと。

良い形で実感する機会でもあるのです。サウムは肉体の活気を取り戻し、精神を安定させてくれます。「サウムを行いなさい。(そうすれば) あなたがたは健康になる」¹⁶ という言葉は、まさにこのことを表しています。

ラマダーン月のサウムを行うことで、ムスリムは空腹に耐える訓練を積みます。子どもたちにも一緒にサウムを行わせ、アッラーへのイバーダに慣れさせることが推奨されています。あるハディース¹⁷には次のようにあります。

「誰であれ信仰し、報奨をアッラーだけから望み、ラマダーン月を有意義に過ごせば、以前の罪を赦される。」¹⁸

また、私たちの預言者（サッラッラーフ・タアーラー・アライヒ・ワ・サッラム）¹⁹ は聖カアブ・イブン・ウジュラ²⁰ にこう語りました。「カアブよ、サラート²¹ は人がムスリムであることの証明である。サ

16 タバラーニー、アル・マジュマウ・アル・アウサト8巻174頁

17 الحديث ハディースとは、私たちの預言者の言葉、行為、是認に関する伝承。イスラーム法学において、ハディースは聖クルアーンに次ぐ第二の法源である。

18 ナサーイー、イーマーン、21

19 سيدنا محمد صلى الله تعالى عليه وسلم サイドウナー・ムハンマド サッラッラーフ・タアーラー・アライヒ・ワ・サッラム。「サイドウナー」とは、「私たちの長」を意味する敬称であり、ムハンマドとはアッラーから遣わされた最後にしてもっとも偉大な預言者の名である。本書では「私たちの預言者」と表記している。「サッラッラーフ・タアーラー・アライヒ・ワ・サッラム」とは「崇高なるアッラーが彼に祝福と平安を与えてくださいますように」を意味する祈りの言葉であるが、一部を除いて文中での表記は省略している。

20 سيدنا كعب بن عجرة (رضي الله تعالى عنه) カアブ・イブン・ウジュラ（ラディヤッラーフ・タアーラー・アンフ《崇高なるアッラーが彼に御満悦なさいますように》。以下、文中での表記は省略する）はサハービーのお一人である。

21 صلاة サラート（礼拝）とは、イスラームにおける5行のひとつ。「アッラーフ・アクバル」の言葉に始まり「アッサラーム・アライクム・ワ・ラハマトゥッラー」の左右への挨拶の言葉で結ぶ、決められた動作と言葉によってキブラ（マッカのカアバ神殿の方角）に向かって行イバーダ。

ウムは丈夫な盾である。サダカは、水が炎を消すように罪を消し去る。カアブよ、ハラーム²²によって育った肉や骨に相応しいのは(地獄の)業火である。」²³

サウムの規範を学べば、その英知も見えてきます。サウムに関する正しい知識を学べば学ぶほど、私たちの預言者のスンナ²⁴により近い形での実践がしやすくなります。

22 حرام ハラームとは、イスラームにおいて禁じられているもの。逆に、イスラームにおいて許されているものは「حلال ハラール」と呼ぶ。

23 ティルミズィー、ジウムア、79

24 السنة アッ=スンナとは、辞書的には「道」、「慣習」などを意味し、ウスール=フィクフ（イスラーム法理論）においては主に次の2つの意味で用いられる。

(1) イスラーム法における法源としてのスンナ。「私たちの預言者の言葉、行為、是認」の意味。

(2) イスラーム法における規範としてのスンナ。「行うことが推奨されており、行えば来世における報奨につながり、行わなくても懲罰の対象とはならない規範」の意味。

II サウムの基礎知識

1. サウムがファルド²⁵となる条件

イスラームにおけるイバーダがファルドとなる主な条件として、ムスリムであること、理性を持っていること、成人している（第二次性徴をすでに迎えている）ことなどが挙げられます。よってこれらは、サウムがファルドとなる条件でもあります。障害をかかえる者や、第二次性徴を迎えていない子どもにサウムがファルドとなることはありません。ただし、イバーダに慣れさせるため、子どもにもサラートやサウムをするよう促すのが望ましいでしょう。私たちの預言者は、7歳から10歳までの子供にサウムをさせるよう勧めています²⁶。

2. ラマダーン月のサウムが免除される状態

イスラームにおける規範はすべて、人が行うことができる範囲内で定められています。行うことができない、または行うことが極端

25 فرض ファルドとは、疑いの余地のない典拠によって裏づけられており、ムスリムが必ず信じ、実践しなくてはならない規範のこと。

26 アブー・ダーウード、サラート、26

に難しいイバーダは命じられていません。また、様々な場面においてイバーダが免除されたり、軽減されたりすることもあります。サウムも例外ではなく、正当な理由がある場合は、ラマダーン月に行わずに後で行うことが許されています。あるイバーダを本来の期間に行うことを「アダー²⁷」、本来の期間より後に行うことを「カダー²⁸」と呼びます。これについて、聖クルアーンには次のように記されています。

「信じる者たちよ。あなたがた以前の者たちにも定められたように、あなたがたのために斎戒が定められた。それであなたがたも、畏れる者となるだろう。[斎戒の] 日数は定められている。しかしあなたがたのうち病の者あるいは旅の者は、[その間は斎戒せず、] 他の日に定められた [のと同じ] 日数を [斎戒しなさい]。[困難のために斎戒が] できなかった者たちは、代償として一名の貧しい者を養いなさい。誰であれ自らすすんで良いことをするなら、それはその者のために良いこと。しかしあなたがたのためには、斎戒がもっとも良いこと。もしあなたがたが、知ってさえいたなら。」²⁹

イスラーム学者たちは聖クルアーンとハディースを典拠に、ラマダーン月のサウムのアダーが免除される正当な理由を次のようにまとめています。

(a) 旅

旅と見なされる距離 (90 キロメートル以上³⁰) 離れた場所へと移動し、同じ場所に 15 日間以上滞在しないつもりで、自分の住んでいる町や村などを出た状態でイムサークを迎えた場合、その日のサ

27 أداء アダー

28 قضاء カダー

29 アル=バカラ 雌牛 2章183-184節

30 旅と見なされる最短距離については、74キロメートルとする見解や、77.5キロメートルとする見解などもある。

ウムのニイヤ³¹は行わなくても問題ありません。ニイヤを行わなかった場合、その日のサウムはせずにラマダーン月が過ぎた後にカダーのサウムを行います。ニイヤを行った場合、その日のサウムを行わなければならない、他の正当な理由がない限り途中で放棄することは許されません。旅行者がその日のサウムを途中で放棄した場合、カダーのサウムがファルドとなりますが、カッファーラ³²はワージブにはなりません。

(b) 病気

サウムを行うことで病状が悪化したり、回復が遅れたりするおそれがある場合、その日のサウムは行わなくても問題ありません。この場合、ラマダーン月が過ぎた後にカダーのサウムを行います。また、サウムを行えば病気になると判断される場合も、同じ規範が適応されます。可能であれば、信頼できるムスリムの医師の判断にしたがうのがもっとも望ましいでしょう。

(c) 老衰

加齢による衰えのためサウムを行えない場合、ラマダーン月のサウムが免除されます。この場合、サウムを行えなかった日数分のフィドゥヤ³³を支払わなければなりません。このことについて、聖クル

31 نية ニイヤとは意思表明のこと。あるイバーダを行うにあたり、その内容を心の中で明確にすることを指す。「わたしは、アッラーの御満悦のために今日のサラトゥ・ツ＝ズフルのファルドのアダーを行うとニイヤしました」、「わたしは明日、アッラーの御満悦のためにラマダーン月のサウムを行うとニイヤしました」など。

32 كفارة カッファーラとは、ラマダーン月のサウムを途中で意図的に放棄したり、アッラーに対する誓いを破ったりするなど、一定の行為を犯した場合の罪滅ぼしとしてワージブとなるイバーダのこと。カッファーラはワージブではなくファルドであるとする見解もある。

33 فدية フィドゥヤについては、本文「2. サウムの基本知識」の「(3) サウムのフィドゥヤ」を参照。

アーンには次のように記されています。

「[困難のために齋戒が] できなかった者たちは、代償として一名の貧しい者を養いなさい。誰であれ自らすすんで良いことをするなら、それはその者のために良いこと。しかしあなたがたのためには、齋戒がもっとも良いこと。もしあなたがたが、知ってさえいたなら。」³⁴

また、快復の見込みがないとされる病人にも、同じ規範が適応されます。

(d) 危険を伴う程の空腹やのどの渇き

ひどい空腹やのどの渇きによって身体や精神が大きな害を被る危険性があると判断される場合、サウムを途中で放棄することができます。この場合、ラマダーン月が過ぎた後にカダーのサウムを行います。ひどい空腹やのどの渇きによって生命の危機に瀕した場合、サウムを続けることはハラームとなります。

(e) 妊娠や授乳

サウムを行えば自分や子供の健康に害があると思われる妊婦や授乳中の女性は、害を被る可能性が低いなら、その日のサウムは行わなくても問題ありません。害を被る可能性が高いなら、その日のサウムを行ってはなりません。いずれの場合も、ラマダーン月が過ぎた後にカダーのサウムを行います。

イスラーム学者たちは、聖クルアーンとハディースに述べられていること以外は、ラマダーン月のサウムを行わない正当な理由ではないとしています。聖クルアーンとハディースに述べられている理由の共通点は「サウムを行うのが困難であること」です。しかし、聖クルアーンとハディースに述べられていることに当てはまらない場合は、たとえサウムを行うのが困難であったとしてもアダーがファ

ルドとなります。

通常、ラマダーン月のサウムを行えなかった、または行わなかった場合、ラマダーン月が過ぎた後に同じ日数分のカダーのサウムを行わなければなりません。老衰のためサウムを行えない場合や、快復の見込みがないとされる病気を患っている場合は、後でカダーのサウムを行う必要はありません。ただし、こうした場合はサウムを行えなかった日数分のフィドゥヤを支払わなければなりません。サウム1日分のフィドゥヤは、サダカトゥ・ル=フィトル1回分³⁵であり、サダカトゥ・ル=フィトルは、貧困者1名の空腹を満たせる平均的な量の食糧、またはそれを購入できる程度の金銭です。

3. サウムのフィドゥヤ

「フィドゥヤ」とは、「あるイバーダをアダーできなかった場合や、アダーの際に何らかの至らない点があった場合に支払わなければならない金銭や現物」のことです。

フィドゥヤには、サウムのフィドゥヤとハッジ³⁶のフィドゥヤの2種類があります。加齢による衰えのためサウムを行えない場合や、快復の見込みがないとされる病気を患っている場合は、後でカダーのサウムを行う必要はありません。ただしこれらの場合、サウムを行えなかった日数分のフィドゥヤを支払わなければなりません。サウム1日分のフィドゥヤは、サダカトゥ・ル=フィトル1回分です。サウムのフィドゥヤについて、聖クルアーンには次のように記されています。

35 صدقة الفطر サダカトゥ・ル=フィトルについては、本文「2. サウムの基本知識」の「(15) サダカトゥ・ル=フィトルとは」を参照。

36 حج ハッジ（大巡礼）とは、イスラームにおける5行のひとつ。一定の条件を満たすムスリムにとり、一生に一度はハッジを行うことがファルドとされる。

「[困難のために斎戒が] できなかった者たちは、代償として一名の貧しい者を養いなさい。誰であれ自らすすんで良いことをするなら、それはその者のために良いこと。しかしあなたがたのためには、斎戒がもっとも良いこと。もしあなたがたが、知ってさえいたなら。」³⁷

フィドゥヤを支払えない場合、アッラーにお許しをこい願います。老衰や病気のため、夏にサウムを行えなくても、冬なら行うことができる場合は、冬にカダーのサウムを行います。その場合、カダーのサウムの代替としてフィドゥヤを支払うことはできません。支払った場合は、フィドゥヤではなくナーフィラ³⁸のサダカ³⁹とみなされます。フィドゥヤは、ラマダーン月の初日が最終日、または途中にまとめて1ヶ月分を支払うことも、毎日その日の分を支払うこともできます。

4. サウムのニイヤ

サウムが有効となる条件のひとつに、ニイヤがあります。ニイヤのないサウムは無効になります。ニイヤは心の中で念じるだけでもよいですが、口に出して唱えるのがマンドゥーブ⁴⁰であり、より望

37 アル=バカラ 雌牛 2章184節

38 نافلة ナーフィラとは、ファルドやワージブ以外のイバーダのこと。スンナやマンドゥーブ、それら以外のすべての任意のイバーダはナーフィラに含まれる。

39 صدقة サダカとは施し、慈善のこと。「サダカ」は非常に広い意味を持つ言葉であり、それは金銭的な施しだけに留まらない。私たちの預言者は「すべての善行はサダカである」と述べている。(プハーリー、アダブ、33) よって、アッラーの御満悦を求めて誰かに微笑んだり、困っている人を助けたり、道に落ちているゴミを拾ったりすることなどもサダカである。

40 مندوب マンドゥーブとは、ファルドやワージブのように義務ではないため、行わなくても来世における懲罰の対象とはならないが、行えば来世における報奨につながる行いのこと。同義語として「مستحب (ムスタハッブ)」が用いられることもある。

ましいことです。ラマダーン月のサウム、日付を指定するナズル⁴¹のサウム、ナーフィラのサウムのニヤは、日没から翌日のサラートゥ・ツ＝ズフル⁴²の前、マクルーフの時間⁴³が始まるまでの時間帯に行わなければなりません。より望ましいのは、日没からイムサークの間、翌日のサウムのニヤを行うことです。これらのサウムのニヤをイムサークの後に行う場合は、イムサークからニヤまでの間に飲食や性交などを行ってはなりません。もし行った場合、その日のサウムのニヤを行うことはできません。これらのサウムのニヤは「わたしはアッラーの御満悦のために、明日サウムを行うとニヤしました」と唱えるだけでよいですが、より望ましいのは「わたしはアッラーの御満悦のために、明日ラマダーン月のサウムを行うとニヤしました」など、どのサウムを行うのかを明言することです。ラマダーン月のサウムのニヤは、毎日行わなければならず、

41 نذر ナズルとは、アッラーに対して「明日の試験に合格したら、2ラクアのサラートをを行います」や「2ラクアのサラートを行うとナズルしました」などと口に出して約束すること。ナズルを行った場合、その遂行はワジブとなる。「日付を指定するナズル」とは「〇〇年〇〇月〇〇日にサウムを行うとナズルしました」などのナズルであり、「日付を指定しないナズル」とは「3日間サウムを行うとナズルしました」などのナズルである。

42 صلاة الظهر サラートゥ・ツ＝ズフルとは、正午過ぎのサラート。イマーム・アブー・ハニーファ（ラハマトゥッラーヒ・タアーラー・アライヒ《崇高なるアッラーの御慈悲が彼の上にありますように》。以下、文中での表記は省略する）の見解によると、太陽が子午線（天頂）から傾き始めたときから、物体の影がその長さの2倍になるまでのあいだに行う。イマーム・アブー・ユースフとイマーム・ムハンマド（ラハマトゥッラーヒ・タアーラー・アライヒマー《崇高なるアッラーの御慈悲が彼らの上にありますように》。以下、文中での表記は省略する）の見解によると、太陽が子午線（天頂）から傾き始めたときから、物体の影がそれと同じ長さになるまでのあいだに行う。

43 أوقات الكراهة サラートを行うことがマクルーフである時間帯をアウカートゥ・ル＝カラーハという。どのようなサラートも行うことができない時間帯と、以前行わなかったサラートのカダーは行えるが、ナーフィラのサラートを行うことはできない時間帯の2種類がある。

まとめて行うことはできません。カダーのサウム、カッフアーラのサウム、日付を指定しないナズルのサウムのニヤは、日没からイムサークの間に行わなければなりません。また、これらのサウムのニヤを行う際は「〇年〇月〇日のラマダーン月のサウムのカダー」、「〇〇のカッフアーラのサウム」、「〇〇のナズルのサウム」など、どのサウムを行うのかうい明言しなければなりません。

シャーフイー学派の見解によると、ナーフィラ以外のすべてのサウムのニヤは、日没からイムサークの間に行わなければなりません。イムサークまでにニヤを行わなかった場合、その日のサウムは無効となります。ナーフィラのサウムの場合は、日没から翌日のサラートウ・ツズフルの前のマクルーフの時間が始まるまでにニヤを行うことができます。

5. イムサーク⁴⁴とは

「イムサーク」とは、辞書的には「自制すること」、「防ぐこと」、「中止すること」、「避けること」などを意味します。イスラーム用語としては「イムサークから日没までの間、飲食や性交など、サウムを無効とする行いを避けること」という意味になります。イムサークの反対語は「イフタール」であり、「サウムを終える、または放棄する」ことを意味します。また「イムサーク」という言葉は「サウムが始まる時間（ファジュール・サーディク⁴⁵が現れた瞬間）」の意味でも用いられることがあり、本書でもこの意味で用いています。

「ファジュール・サーディク」とは、辞書的には「正直な暁」という意味です。イスラーム用語としては「夜明け前、太陽が地平線の東

44 إمساك イムサーク

45 فجر صادق ファジュール・サーディク

側に近づくことによって、地平線を這うように広がる白い光」を意味します。ファジュル・サーディクがサウムの始まりを告げる印であることについて、聖クルアーンには次のように記されています。「夜明けの白い筋が、[夜更けの]黒い筋と見分けられるようになるまでに食べ、飲みなさい。そののち夜まで齋戒をまっとうしなさい。」⁴⁶

人工的な光に満ち溢れ、排気ガスに汚染された現代の都市部での生活において、ファジュル・サーディクを肉眼で確認することはほぼ不可能です。この場合、現代技術を駆使した観測方法で、ファジュル・サーディクを確認することになります。アッラーが無から創造した宇宙は、これ以上ない秩序と規律を保っており⁴⁷、よって、私たちはたやすくサラートやイムサークの時間帯を把握することができます。

トルコ共和国宗務庁は、イムサークの把握において天文学と現代科学技術を用いた方法を採用しています。これに従うなら、太陽が経度 18 度上に位置する瞬間がイムサークです。この方法によって導き出されたイムサークの正確さは、多くのイスラーム諸国において受け入れられています。

6. イード⁴⁸の日のサウム

イードの日とアイヤーム・アッ=タシュリーク⁴⁹においてサウムを

46 アル=バカラ 雌牛 2章187節

47 アル=アンアーム 家畜 6章96節；アル=ファーティル 創始者 35章13節；
ヤー・スイーン 36章38-40節；アル=カマル 月 54章49節

48 عيد イードとは、イスラームにおける特別な日。イードゥ・ル=アドハー（犠牲祭）
とイードゥ・ル=フィトル（ラマダーン明けの祭り）の2つがある。

49 أيام التشريق アイヤーム・アッ=タシュリーク

行うことは、マクルーフ・タハリミー⁵⁰にあたります。なぜなら、これらの日は皆で飲食を楽しみ、喜びを分かち合うべきだからです。イードゥ・ル=フィトルは、ラマダーン月のサウムをまっとうしたムスリムたちへのアッラーからのもてなしです。そもそも「フィトル」とは、辞書的には「断食を終えること」を意味します。よってイードゥ・ル=フィトルの日にサウムを行うことは、アッラーのもてなしを断るようなものであり、これはしもべとしてあるまじき態度でしょう。

アッラーの御満悦のために家畜を屠るイードゥ・ル=アドハーも、同じくアッラーのもてなしの日です。さらに、私たちの預言者は、イードゥ・ル=アドハーから数えて2日目から4日目までの3日間である「アイヤーム・アッ=タシュリーク」は、飲食を行い、アッラーを唱念する日であると語っておられます⁵¹。

7. 金曜日のサウム

イスラーム学者たちは、金曜日のみをもってナーフィラのサウムを行うことはマクルーフ・タンズィーヒーであるとの見解を示しており、次のハディースがその典拠となっています。「あなたがたのうち誰であれ、金曜日にサウムを行ってはならない。ただし、その前日か翌日もサウムを行うのであれば、金曜日にサウム行ってもよ

50 مَكْرُوهٌ マクルーフとは、ハラームではないが、イスラームにおいて嫌われるものこと。マクルーフには、次の2種類がある。

(1) مَكْرُوهٌ تَحْرِيْمِيٌّ マクルーフ・タハリミー：ハラームに近いマクルーフ。禁じられているもののうち、典拠の解釈に議論の余地があるもの。マクルーフ・タハリミーを犯すことは罪であるため、必ず避けなければならない。

(2) مَكْرُوهٌ تَنْزِيْهِيٌّ マクルーフ・タンズィーヒー：ハラールに近いマクルーフ。禁じられてはいないが、避けることが望ましい。

51 ブハーリー、サウム、66-67；アブー・ダーウード、サウム、49

い。」⁵² このハディースが意図しているのは、ナーフィラのサウムであるとされています。よって、ラマダーン月のサウムのカダーやナズルのサウムなど、ファルドやワージブ⁵³のサウムは金曜日でも行うことができます。金曜日にナーフィラのサウムを行いたい場合は、その前日か翌日もサウムを行うべきでしょう。金曜日のみをもってナーフィラのサウムを行うのが嫌われるのは、ムスリムたちにとり、金曜日はイードのように特別な日であるためとされています。

8. ラジャブ月⁵⁴、シャアバーン月⁵⁵、ラマダーン月のサウム

ラジャブ月、シャアバーン月、ラマダーン月の3ヶ月は、祝福と徳に満ちた期間です⁵⁶。ラジャブ月はヒジュラ暦における7月、シャアバーン月は8月、ラマダーン月は9月にあたります。私たちの預言者は、ラジャブ月になると「アッラーよ、ラジャブ月とシャアバーン月をわれわれにとって祝福されたものとしてください。そしてわれわれをラマダーン月に到達させてください」⁵⁷とドゥアーなさって

52 アブー・ダーウード、サウム、50

53 واجب ワージブとは、ムスリムが必ず実践しなければならない規範のうち、その典拠の解釈に議論の余地があるもの。

54 رجب ラジャブ

55 شعبان シャアバーン

56 ラマダーン月が祝福と徳に満ちた月であることに関しては、すべてのイスラーム学者の見解が一致している。ただし、ラジャブ月とシャアバーン月における祝福と徳の度合いに関しては、イスラーム学者たちの見解が分かれている。

57 اللَّهُمَّ بَارِكْ لَنَا فِي رَجَبٍ وَشَعْبَانَ وَبَلِّغْنَا رَمَضَانَ 「アッラーフンマ・バリーク・ラナー・フィー・ラジャバ・ワ・シャアバーン・ワ・バッリグナー・ラマダーン」

いたといいます⁵⁸(ただし、このハディースはダイーフ⁵⁹とされます)。ラマダーン月のサウムはファルドであり、また私たちの預言者は、ラジャブ月とシャアバーン月には他の月よりも多くのナーフィラのサウムを行っておられました。ただし私たちの預言者が、ラマダーン月以外に1ヶ月連続してサウムを行うことはありませんでした⁶⁰。そのため、ラジャブ月とシャアバーン月の2ヶ月間続けてサウムを行うというスナは存在しません。ラジャブ月とシャアバーン月にナーフィラのサウムを行うかは、個人の自由です。

9. ラマダーン月のサウムのカダーはいつ行うべきか

ラマダーン月のサウムを行わなかった場合や、途中で放棄した場合、ラマダーン月が終わってから同じ日数分のカダーを行わなければなりません。このことについて、聖クルアーンには次のように記されています。

「しかしあなたがたのうち病の者あるいは旅の者は、[その間は齋戒せず、]他の日に定められた[のと同じ]日数を[齋戒しなさい]。」⁶¹

カダーのサウムは続けて行っても、間を空けて行ってもかまいません。ただし、カダーのサウムがファルドとなった場合、後回しにするのは避けるべきです。サウムはアッラーの権利であり、人がサウムを行わずに死を迎えた場合、アッラーの権利を侵害したことになるためです。人は誰しもが死を迎えます。そしてそれがいつになるかは、誰にもわかりません。ですので、カダーのサラ

58 アハマド・イブン・ハンバル、ムスナド、1巻259頁

59 حديث ضعيف ハディース・ダイーフとは、その信頼性が弱く、私たちの預言者のものであるかが不確実であるとされているハディースのこと。

60 ブハーリー、サウム、52-53；ムスリム、スィヤーム、173-179

61 アル=バカラ 雌牛 2章184節

トやサウムがあるなら一瞬でも早く行うべきでしょう。

ラマダーン月のサウムのカダーは、サウムを行うのが禁じられている日とラマダーン月以外であればいつでも行えます。ただし、私たちの預言者は、イードゥ・ル＝アドハー、イードゥ・ル＝フィトル、アイヤーム・アッ＝タシュリークにサウムを行うことを禁じておられます⁶²。

10. カダーのサウムの行い方

ラマダーン月のサウムを行わなかった場合や、途中で放棄した場合、ラマダーン月が終わってから同じ日数分のカダーを行わなければなりません。ラマダーン月のサウムのカダーは、サウムを行うのが禁じられている日とラマダーン月以外ならいつでも行えます。サウムを行うのが禁じられている日とは、イードゥ・ル＝アドハー、イードゥ・ル＝フィトル、アイヤーム・アッ＝タシュリークの合計5日間です。

ラマダーン月のサウムのカダーを行う際のニイヤは「わたしはアッラーの御満悦のために、明日、カダーがファルドとなった最初のサウムを行うとニイヤしました」とするのが望ましいでしょう。

人生で一度もサウムを行ったことがない場合、第二次性徴を迎えた、またはムスリムになった日からすべてのラマダーン月のサウムのカダーを行わなければなりません。ヒジュラ暦における1ヶ月は29日間か30日間ですが、念のためすべてのラマダーン月を30日間として計算するのが望ましいでしょう。正当な理由なくサウムを怠ってきた場合は心より悔悟し、アッラーに御許しをこい願わなくてはなりません。

人生で一度もサウムを行ったことがないわけではないが、ラマダー

62 プハーリー、サウム、66-67

ソ月のサウムを行わなかったことがある場合、行わなかった日数を正確に計算し、カダーを行わなければなりません。正当な理由なくサウムを怠ったことがある場合は心より悔悟し、アッラーに御許しをこい願わなくてはなりません。

11. 国外で生活しており、ラマダーン月の初日や

イードの日が滞在先と母国で違う場合、
どちらに従うべきか

多数のイスラーム学者の見解によると、太陰暦におけるひと月は地球上のどこかで日没後に新月が確認されることによって始まります。現代においては、地球上のどこでいつ新月が昇るかは前もって確実に把握することができます。トルコやその他多くの国々において、ラマダーン・カレンダーの作成にあたってこの見解が採用されています。一部の国では、新月が昇る瞬間ではなく、月が合の状態となる瞬間を観測し、基準としています。また別の国では、あくまでも居住国において新月を観測する必要があるとの見解を採用しています。よって国外で生活している場合、ラマダーン月の初日やイードの日が母国とずれることがありますが、その場合は滞在先で使用されているカレンダーに従い、ラマダーン月やイードの幸福を現地のムスリムたちと分かち合うべきでしょう。

12. 仕事関係などで常に旅にある場合のサウムの行い方

サウムのアダーが免除される正当な理由が続いている限り、アダーはファルドとはなりません。よって、旅や病気などが何年間続いたとしても、サウムのアダーは免除され続けます。この場合、旅から戻る、病気が治るなど、正当な理由がなくなったのち、同じ日数分

のカダーのサウムを行わなければなりません。このことについて、聖クルアーンには次のように記されています。

「しかし病の者あるいは旅の者は、他の日に定められた [のと同じ] 日数を [斎戒しなさい]。」⁶³

仕事で長旅を続ける船員や運転手などにも、この規範が適用されます。もっとも望ましいのは、旅にあっても健康や仕事に差し支えなければラマダーン月のサウムを行うことです。

13. 飛行機内でのサウム

旅行者がサウムを行う場合は、そのとき滞在している地域の時刻に合わせて行います。よって、飛行機での移動中にサウムを行う場合も、そのとき上空を通過している地域の時刻に合わせて行います。

ハナフィー学派の多数派の見解によると、ラマダーン月に旅と見なされる距離にある場所へ向かう予定がある場合も、自分の住む町や村を出ていない状態でイムサークを迎えた場合、その日のサウムのニヤを行わなければなりません。旅と見なされる距離にある場所へ移動し、同じ場所に15日間以上滞在しないつもりで、自分の住む町や村を出た状態でイムサークを迎えた場合、その日のサウムのニヤは行わなくても構いません。ニヤを行わなかった場合、その日のサウムはせずにラマダーン月が過ぎた後でカダーのサウムを行います。

飛行機で移動するとき、サウムの時間帯が極端に短くなったり長くなったりすることがあります。この場合にサウムをどう行うかについて、現代のイスラーム学者たちの見解は分かれています。機内から見て太陽が昇る前にサフルを終え、同じく機内から見て太陽が沈んだ後にサウムを終えるという見解もあれば、そのとき上空を

63 アル=バカラ 雌牛 2章185節

通過している地域の時刻に合わせてサウムを行うという見解もあります。飛行機に乗る前にいた地域の時刻に合わせてサウムを行うとの見解もあります。⁶⁴

14. ウドゥー⁶⁵の際に誤って水を飲み込んでしまった場合

ウドゥーの際に誤って水を飲み込んでしまうと、サウムは無効になります。ただし、サウム中であることをウドゥーの際に忘れて水を飲み込んだ場合、サウムは無効とはなりません。つまり、サウムを行っていることを覚えており、水を飲み込まないように気を付けていたにも関わらず誤って飲み込んでしまった場合、サウムは無効となりますが、サウム中であること自体を忘れ、不注意に水を飲み込んでしまった場合は、サウムは無効とはなりません。

15. シャワーを浴びたり海に入ったりすることで

サウムは無効となるか

水を飲み込まない限り、サウムは無効にはなりません。ですから、水を飲み込まないように気を付けながらシャワーを浴びることはサ

64 飛行機内でのサウムは、サウムに関する規範の中でも特に見解が分かれている。よって、実際に飛行機内でイムサークを迎えたり、サウム中に飛行機に乗ったりする予定がある場合は、信頼できるイスラーム学者に前もって相談するべきである。

65 وضوء ウドゥーとは小浄を指し、身体の一定の部位を水で清めること。サラートを行う際や聖クルアーンに手を触れる際などは、必ずウドゥーを行った状態でなければならない。

ウムを無効にしません。聖アーイシャ⁶⁶と聖ウンム・サラマ⁶⁷は、私たちの預言者がラムダーン月のイムサーク後にグスル⁶⁸を行ったと伝えています⁶⁹。

同様に、海に入ることもサウムを無効にしません。ただし、泳ぐときに口から水を飲み込んだり、鼻から水を吸い込んだりしてしまう可能性が高いため、サウムを行っている際は海に入るのを避けるのがより望ましいでしょう。

16. ジュヌブ⁷⁰の状態で行うことはできるか

ジュヌブの状態であることはサウムを無効にしません。これは、サウムを始める前にジュヌブとなっても、サウムを始めた後に夢精などによってジュヌブとなっても同じで、サウムに影響はありません。ただし、サウムを行っているかに関わらず、ジュヌブの状態にある者は速やかにグスルを行うべきでしょう。また、ジュヌブの状態でサラートの時間帯が過ぎてしまった場合、サラートの放棄となり罪を犯したことになります。

66 (رضي الله تعالى عنها) سيدتنا عائشة (ラディアッラーフ・タアーラー・アンハー《崇高なるアッラーが彼女に御満悦なさいますように》。以下、文中での表記は省略する) はサハービヤのお一人であり、私たちの預言者(サッラッラーフ・タアーラー・アラヒ・ワ・サッラム)の妻。

67 (رضي الله تعالى عنها) سيدتنا أم سلمة (ラディアッラーフ・タアーラー・アンハー《崇高なるアッラーが彼女に御満悦なさいますように》。以下、文中での表記は省略する) はサハービヤのお一人であり、私たちの預言者の妻。

68 غسل グスルとは大浄を指し、全身を水で清めること。性交渉や夢精があった場合や、月経や産褥が終わった場合などは、グスルを行わない限りサラートを行ったり、聖クルアーンを朗読したりすることはできない。

69 ブハーリー、サウム、25

70 جنب ジュヌブとは、浄めが無効になった状態を指す。

17. サダカトゥ・ル＝フィトルとは

「サダカトゥ・ル＝フィトル」とは「ラマダーン月を終え、ニサーブ以上の財産を所有するムスリムにワージブとなる金銭的なイバーダ」のことです。トルコ語では、サダカトゥ・ル＝フィトルのことを短く「フィトレ」と呼ぶこともあります。自分自身と、扶養する家族の生活のために必要なもの、およびかかえている負債を除いた財産がニサーブに達している場合は、サダカトゥ・ル＝フィトルがワージブとなります。サダカトゥ・ル＝フィトルがワージブであることについては、私たちの預言者のスンナがその典拠となっています⁷¹。

第二次性徴を迎えていない子どものサダカトゥ・ル＝フィトルは、父親にワージブとなります。サダカトゥ・ル＝フィトルは、イードゥ・ル＝フィトルの日のサラート・ル＝ファジュルの時間帯に入った瞬間にワージブとなります。貧困者たちが十分な食料や金銭を持った状態でイードの日を過ごすように、サラート・ル＝イード⁷²が始まるまでにサダカトゥ・ル＝フィトルを支払うのがムスタハブです。サダカトゥ・ル＝フィトルを支払うのを遅らせるのはマクルーフであるため、可能な限り早く支払うべきでしょう。

サダカトゥ・ル＝フィトルは、貧困者ひとりの1日分の消費量に見合った食料を現物で支払うことも、その価値分の現金を支払うこともできます。もっとも望ましいのは、貧困者にとってより有益な支払い方を選ぶことでしょう。サダカトゥ・ル＝フィトルの英知のひとつは、イードの喜びを貧困者たちと共に分かち合うことです。

71 ブハーリー、ザカート、70-78；ムスリム、ザカート、12-16；アブー・ダーウード、ザカート、18；イブン・マージャ、ザカート、21

72 صلاة العيد サラート・ル＝イードとは、イードの日、サラート・ル＝ファジュルの後のマクルーフの時間帯が過ぎたのち、マスジドにおいて集団で2ラクア行うワージブのサラートのこと。

18. サダカトゥ・ル＝フィトルを受け取る権利を持つ者たち

ザカートやサダカトゥ・ル＝フィトルを受け取る権利を持つのは、支払い手の扶養家族に当たらない貧しいムスリムです。非ムスリムである場合や、ザカートやサダカトゥ・ル＝フィトルを支払う者と以下の関係にある場合は、受け取ることはできません。

- (1) 父、母、祖父、祖母
- (2) 息子、娘、孫
- (3) 夫婦

また、第二次性徴を迎えていない貧しい子どもの父親が裕福な場合は、その子どもにザカートやサダカトゥ・ル＝フィトルを支払うことはできません。兄弟姉妹、おじ、おば、従兄弟、従姉妹、岳父、姑、娘婿などの親戚は、条件を満たしているならザカートやサダカトゥ・ル＝フィトルを受け取ることができます。

19. サウムのフィドゥヤの支払い方

サウム1日分のフィドゥヤは、サダカトゥ・ル＝フィトル1回分です。フィドゥヤは、ラマダーン月の初日か最終日、または途中でまとめて1ヶ月分を支払うことも、毎日その日の分を支払うこともできます。すべてのフィドゥヤを同じ貧困者に支払うことも、別々の貧困者に支払うこともできます。フィドゥヤを支払うことができない場合、アッラーに御許しをこい願いましょう。ハナフィー学派の見解によると、老衰や治る見込みのない病気のためにラマダーン月のサウムを行うことができず、フィドゥヤを支払った後に、サウ

ムを行うことができる状態まで快復した場合、カダーのサウムを行わなければならない。この場合、それまで支払ったフィドゥヤはナーフィラのサダカとみなされます。

20. サウムのフィドゥヤを受け取る権利を持つ者たち

サウムのフィドゥヤを受け取る権利を持つのは、サダカトゥール＝フィトルの場合と同じく、支払い手の扶養家族に当たらない貧しいムスリムです。詳細は「サダカトゥール＝フィトルを受け取る権利を持つ者たち」の項目において述べた通りです。

21. 正当な理由なく、サウムのフィドゥヤを カダーの代わりとすることはできるか

ラマダーン月のサウムを行う代わりにフィドゥヤを支払うのは、老衰によりサウムを行うことができない場合と快復の見込みがないとされる病気を患っている場合のみです。それ以外の場合にフィドゥヤをカダーの代わりとすることはできません。聖クルアーンにある「[困難のために齋戒が] できなかった者たち」⁷³ という表現を、私たちの預言者やサハーバ⁷⁴ の実践に照らし合わせて考えると、「サウム

73 アル＝バカラ 牝牛 2章184節

74 (رضي الله تعالى عنهم) الصحابة サハーバ (ラディアッラーフ・タアーラー・アンフム《崇高なるアッラーが彼らに御満悦なさいますように》)。以下、文中での表記は省略する)とは教友たちを指し、私たちの預言者の存命中に彼を一目でも見たことがあり、イスラームを受け入れた状態で亡くなった人々のこと。ムスリムはすべてのサハーバを心より敬愛しなければならない。彼らの悪口を言ったり、嫌ったりすることはムスリムとしてあるまじき行為であり、大きな罪である。「サハーバ」は複数人を指す言葉であり、男性ひとりなら「صحابي (サハービー)」、女性ひとりなら「صحابية (サハービヤ)」という。

を行うことができない程に老衰している、または快復の見込みがないとされる病気を患っている者たち」という意味であることがわかります。よって、正当な理由なくラマダーン月のサウムを怠った場合や、正当な理由があって一時的にサウムを行えなかった場合は、ラマダーン月が過ぎた後に同じ日数分のカダーのサウムを行わなければなりません。また、正当な理由なくサウムを怠った場合は心より悔悟し、アッラーに御許しを請わなければなりません。ハナフィー学派の見解によると、老衰や快復の見込みがないとされた病気のためにラマダーン月のサウムを行うことができず、フィドゥヤを支払った後に、サウムを行える状態まで快復した場合は、カダーのサウムを行わなければなりません。その際は、それまでに支払ったフィドゥヤはナーフィラのサダカとみなされます。

III サウムを無効とする事柄と、 無効としない事柄

22. サウムを無効とする事柄

サウムを行っている間は、一切の飲食や性交渉を絶たなければなりません。また、飲食や性交渉を行ったも同然とみなされるふるまいも避けねばなりません。そうした事柄はサウムを無効にします。たとえば薬の服用や喫煙は厳密には飲食ではありませんが、飲食同然とみなされます。薬の服用は身体に必要な栄養をとるという点において、また喫煙は身体に何かを取り込むことで快楽を得るという点において、いずれも飲食と類似するものとみなされるからです。

23. サウムを無効とし、カダーのみを必要とする事柄

病気などの正当な理由によりラマダーン月のサウムを放棄した場合、カダーのみがファルドとなります。また、ウドゥーの際に誤って水を飲み込んでしまうなど、サウムを無効とする事柄が意図せず発生した場合も、カダーのみがファルドとなります。土や生米など、通常は食べ物とみなされないものを飲み込んだ場合も、カダーのみ

がファルドとなります。

ラマダーン月のサウムを正当な理由なく意図的に放棄することは大罪です。この場合、ラマダーン月が過ぎた後に同じ日数分のカダーのサウムを行わなければなりません。性交渉を伴わないながら、異性との接触や接吻によって射精した場合、雨、雪、雹などが誤って口に入り飲み込んだ場合、ウドゥー、入浴、水泳などの際に誤って水を飲み込んだ場合、口いっぱい量の胃の内容物を意図的に嘔吐した場合、暁が昇ったにも関わらず、まだ昇っていないと思い込んで飲食を続けた場合、まだ日没になっていないにも関わらず、日没になったと思い込んで飲食を行った場合、自らがサウム中であることを忘れて飲食を行った後、サウムが無効になったと思い込んで意図的に飲食を行った場合、イムサークからサラトゥ・ツ＝ズフル前のマクルーフの時間が始まるまでの時間帯にサウムのニヤを行ったが、そのニヤが無効であると思い込んで意図的に飲食を行った場合などは、サウムが無効となり、ラマダーン月が過ぎた後にカダーのサウムを行わなければなりません。ただし、これらの場合においてカッファーラはワージブとなりません。

24. 正当な理由なく意図的にラマダーン月のサウムを途中で放棄した場合

正当な理由なく意図的にラマダーン月のサウムを途中で放棄することは、ラマダーン月に対する冒瀆であり、大罪です。私たちの預言者は、正当な理由なく意図的にラマダーン月のサウムを途中で放棄した場合、カッファーラを行わなければならないと述べておられます⁷⁵。

75 プハーリー、サウム、30；ヒバ、20；ナファカート、13；カッファーラトゥール・アイマーン、2-4；ムスリム、スィヤーム、81

カフアーラとは、太陰暦での2ヶ月、または60日のあいだ連続して行うサウムのことです。これを行うことができない場合、貧困者60人にそれぞれ1日分の食事を提供しなければなりません。または、貧困者ひとりに1日分の食事を提供することを60日間続けてもよいでしょう。もちろん、カフアーラだけではなく、カダーのサウムも行わなければなりません。また、自分が犯した大罪を心より悔悟し、アッラーに御許しをこい願わなくてはなりません。

25. サウム中であることを忘れて飲食を行った場合

サウム中であることを忘れて飲食を行った場合、サウムは無効となりません。このことについて、私たちの預言者は次のように述べておられます。

「サウム中であることを忘れて飲食を行った者は、サウムを続けなさい。サウムを放棄してはならない。なぜなら、アッラーが彼に食べさせ、飲ませたからである。」⁷⁶

サウム中であることを忘れて何かを食べ、サウム中であることを思い出した場合は、すぐに食べ物を吐き出し、口をすすぎましょう。サウム中であることを思い出した後何かを飲み込んだ場合、サウムは無効となり、カダーのサウムがファルドとなります。

26. 歯を磨くことはサウムを無効とするか

水を飲み込まないよう気を付けながら口をすすぐことで、サウムは無効になりません。それと同じように、水や歯みがき粉などを飲み込まないように気を付けながら歯をみがいても、サウムは無効になりません。ただし、誤って飲み込み、サウムが無効となるのを防

76 プハーリー、サウム、26

ぐため、歯みがきはサウムを始める前や終えた後にするのがより望ましいでしょう。また、サウム中に歯みがきをする際は、歯みがき粉を使わないのがより望ましいでしょう。

27. 嘔吐した場合、サウムは無効となるか

意図せず嘔吐してしまった場合、吐いた量に関わらずサウムは無効になりません。また、食べた物が胃からこみ上げてきたが嘔吐には至らなかった場合も、サウムは無効になりません。口いっぱい量の胃の内容物を意図的に嘔吐した場合、サウムは無効となり、カダーのサウムがファルドとなります。サウム中に嘔吐した場合の規範について、私たちの預言者は次のように述べておられます。

「サウム中に意図せず嘔吐してしまった場合、カダーの必要はない。誰でも（サウム中に）意図的に嘔吐した者は、そのサウムのカダーを行いなさい。」⁷⁷

意図せず嘔吐してしまった後、それによりサウムが無効となったと思いついで飲食を行った場合、サウムは無効となり、カダーのサウムがファルドとなります。ただし、カッファアールはワージブとなりません。

現代において医療は進歩し続けており、様々な疾患の治療方法が存在します。これらの治療方法には、サウムを無効とするものもあれば、そうでないものもあります。

28. 信頼できる医師にサウムを止められた場合

信頼できるムスリムの医師に、サウムを行えば病気が悪化する危

77 アブー・ダーワード、サウム、32；ティルミズイー、サウム、25

あると思われる妊婦や授乳中の女性は、その日のサウムのアダーが免除されると述べています⁷⁹。ただし、サウムを行えば病気になる危険性が高いとの判断を下すのは、可能であれば、信頼できるムスリムの医師であることがもっとも望ましいという点に注意が必要です。アッラーは、聖クルアーンにおいてサウムを命じると同時に、次のようにも告げておられます。

「アッラーがあなたがたに求めるのは安楽であり、あなたがたが定められた日数をまっとうし、あなたがたを導くアッラーをほめ称えることであり、あなたがたに苦境は求めない。あなたがたは、感謝するようになるだろう。」⁸⁰

また、アッラーは次のようにも告げておられます。

「アッラーはどの者にも、その能力以上のことを負わせない。」⁸¹

30. 喘息の吸入薬の使用はサウムを無効とするか

サウムを行えば病気が悪化する、またはその快復が遅れる危険性があると見なされる場合、その日のサウムを行わなくても問題ありません。この場合、ラマダーン月が過ぎた後にカダーのサウムを行います。また、サウムを行えば病気になると判断される場合も、同じ規範が適用されます。可能であれば、信頼できるムスリムの医師の判断にしたがうのがもっとも望ましいでしょう。老衰によりサウムを行うことができない場合や、快復の見込みがないとされる病気を患っている場合、後でカダーのサウムを行う必要はありません。ただ、こうした場合はサウムを行えなかった日数分のフィドゥヤを支払わなければなりません。サウム1日分のフィドゥヤは、サダカ

79 ムワッタア、スィヤーム、52

80 アル=バカラ 雌牛 2章185節

81 アル=バカラ 雌牛 2章286節

トゥ・ル=フィトル 1 回分です。喘息患者も例外ではなく、基本的にはまったく同じ規範が適用されます。ただし、喘息以外の症状がなく、吸入薬を使用すればサウムを行える場合は、ラマダーン月のサウムを行わなくてはなりません。喘息の吸入薬の使用はサウムを無効としないとされるからです。喘息の吸入薬は、多くの場合 50 マイクロリットル（20 分の 1 ミリリットル）程度の微量の液体を、のどに吹き付けるものです。その微量の液体の大部分はのどに吸収されるため、胃に到達する可能性は疑わしく、また微量の液体を意図せず飲み込んでもサウムは無効とはなりません。これは、ウドゥーの際に口をすすぎ、吐き出した後に口の中に残った水を飲み込むことがサウムを無効としないことから明らかです。

また、ミスワーク⁸²を使う際、その小さな木片を飲み込んだり成分が胃に到達したりする可能性は非常に高いにも関わらず、私たちの預言者はサウム中にミスワークを使っていました⁸³。さらに、ウスール・ル=フィクフ⁸⁴には「疑いは確信を無効としない⁸⁵」という原則があります。よって、喘息の吸入薬の使用はサウムを無効としないとされています。

82 مسواك ミスワーク、木の枝から作られる歯ブラシ。これで歯をみがくことは様々な場面においてスンナである。

83 ブハーリー、サウム, 27; ティルミズイー、サウム, 29

84 أصول الفقه ウスール・ル=フィクフ、イスラーム法理論。イスラームにおけるファルド、ワージブ、スンナ、ムスタハップ、ムバーフ、マクルーフ、ハラームなどの規範を定める大本となる原則を扱う学問。

85 اليقين لا يزول بالشك 「アル=ヤキーヌー・ラー・ヤズール・ビツ=シャック」とは、直訳で「確信は疑いによって失われない」の意味。「ある行いを確かに行ったと自覚している場合『その行いを無効とするようなことがあったかもしれない』という疑いからかれても、その行いは無効とならない」という原則。

例えば、ウドゥーを行った確かな自覚がある場合「ウドゥーを行った後、居眠りをしたかもしれない」という疑いからかれても、確かに居眠りをしたと明らかにならない限りウドゥーは無効とならない。

31. 目薬の使用はサウムを無効とするか

専門家によると、目にさす点眼薬は非常に微量であり、50 マイクロリットル（20 分の 1 ミリリットル）程度に過ぎません。その一部は目薬をさした直後の瞬きによって目の外に溢れ出るため、目から吸収されるのはさらに微量です。目から吸収された成分は、涙小管、涙嚢、鼻涙管などを通して全身に吸収されます。また、そもそも目薬をさすことは飲食と同然の行為とはいいがたく、そのため目薬の使用はサウムを無効としないとされています。

32. 点鼻薬の使用はサウムを無効とするか

どのの炎症を抑えるなどの目的で使用される点鼻薬の 1 回の使用量は、60 マイクロリットル（0.06 ミリリットル）程度です。また、その一部は鼻腔内で吸収されるため、胃に到達するのはごくわずかであり、また微量の液体を意図せず飲み込んでもサウムは無効とはなりません。これは、ウドゥーの際に口をすすぎ、吐き出した後に口の中に残った水を飲み込むことがサウムを無効としないことから明らかです。また、そもそも点鼻薬の使用は飲食と同然の行為とはいいがたく、そのため点鼻薬の使用はサウムを無効としないとされています。

33. 点耳薬の使用はサウムを無効とするか

耳とどのは耳管によってつながっています。しかし、耳と耳管の間を鼓膜が塞いでいるため、通常は点耳薬がのどに到達することはありません。よって、点耳薬の使用はサウムを無効としないとされ

ています。鼓膜に穴が開いていたとしても、そこから入った点耳薬の大部分は耳管に吸収されるため、胃に到達するのはごくわずかで、また、点耳薬の使用が飲食と同然の行為とはいいがたく、そのため点耳薬の使用はサウムを無効としないとされています。

34. 水で耳を洗浄することは、サウムを無効とするか

耳とのどは耳管によってつながっています。しかし、耳と耳管の間を鼓膜が塞いでいるため、耳に水が入ってものどに到達することはありません。よって、水による耳の洗浄は、サウムを無効としないとされています。ただし、鼓膜に穴が開いている場合は、水が胃に到達する可能性があります。水が胃に到達した場合、サウムは無効となります。

35. 舌下剤はサウムを無効とするか

狭心症や心筋梗塞などの心臓病患者が使用する舌下剤は、舌の下に置いて自然に溶かし、口腔粘膜から血管へ吸収され、効果を発揮します。舌下剤は飲み込むものではないため、胃に到達することはありません。よって、誤って飲み込まない限り、舌下剤の使用はサウムを無効としないとされます。

36. 毎日飲み薬を服用しなければならない場合

サウムを行えば病気が悪化する、またはその快復が遅れる危険性があると見なされる場合、その日のサウムを行わなくても構いません。この場合、ラマダーン月が過ぎた後にカダーのサウムを行います。また、サウムを行えば病気になると判断される場合も、同じ規範が

適用されます。可能であれば、信頼できるムスリムの医師の判断にしたがうのがもっとも望ましいでしょう。ただし、自分の経験からそうした危険性が明らかな場合は、医師に判断を求める必要はありません。ラマダーン月のサウムのアダーの免除に関する規範について、聖クルアーンには次のように記されています。

「しかしあなたがたのうち病の者あるいは旅の者は、[その間は斎戒せず、]他の日に定められた[のと同じ]日数を[斎戒しなさい]。」⁸⁶

飲み薬の服用はサウムを無効にします。よって、サウムの時間帯に飲み薬を服用しなければならない病人は「サウムを行えば病気が悪化する、またはその快復が遅れる危険性がある」ものとみなされ、ラマダーン月のサウムのアダーの免除の対象となります。

サウムを行えない状態から快復する見込みがない際は、後でカダーのサウムを行う必要はありません。ただし、この場合、サウムを行えなかった日数分のフィドゥヤを支払わなければなりません。フィドゥヤを支払うことができない場合は、アッラーに御許しをこい願います。

37. 内視鏡検査、大腸内視鏡検査、肛門エコー検査、 経膣エコー検査はサウムを無効とするか

内視鏡検査は、胃の病気を発見したり、疑いのある組織を採取したりするために口から胃カメラを入れて行う検査です。また大腸内視鏡検査は、大腸の病気を発見したり、疑いのある組織を採取したりするために肛門から大腸カメラを入れて行う検査です。大腸内視鏡検査においては、水による腸内洗浄がほぼ必須となっています。またほとんどの内視鏡検査においても、水による胃洗浄が行われます。内視鏡検査、大腸内視鏡検査、肛門エコー検査、経膣エコー検査

86 アル=バカラ 雌牛 2章184節

査を飲食と同様の行為であるとは言い難いでしょう。しかし、多くの場合は水による洗浄を行うため、これらの検査を受けることはサウムを無効とするとされます。これらの検査を、水、油、栄養素などを体内にまったく流し込まずに行うのであれば、サウムは無効とされないといわれます。

38. 生体組織診断はサウムを無効とするか

病変部位の組織を採取することは、サウムを無効としません。よって、生体組織診断を受けてもサウムは無効となりません。

39. 尿管鏡検査や膀胱内注入療法

尿管に尿管鏡を入れることや、尿道からカテーテル（管）などを通して膀胱に直接薬を注入することは、サウムを無効としないとされます。よって、尿管鏡検査や膀胱内注入療法を受けてもサウムは無効となりません。

40. 麻酔はサウムを無効とするか

麻酔には、呼吸器から吸入するもの、注射によって投与するもの、点滴によって注入するものなどがあります。呼吸器から吸入する場合及び注射によって投与する場合、胃に何かが到達することはありません。加えて、これらを飲食と同様の行為であるとは言い難く、よってこうした方法で麻酔を受けることはサウムを無効としないとされています。一方、点滴による麻酔はサウムを無効とするとされます。点滴による麻酔やその他の薬の注入の場合は、胃に栄養素が到達するからです。

41. 臍錠、座薬、グリセリン浣腸はサウムを無効とするか

大腸は、水分、糖分、塩分などの消化吸収を行う消化器官です。臍は消化器官とつながっていません。そのため、臍錠の使用はサウムを無効としないとされます。肛門は消化器官とつながっていますが、食べ物の消化は小腸で行われます。加えて、座薬の使用が飲食と同然の行いとは言い難く、そのため座薬の使用もサウムは無効にならないとされます。グリセリン浣腸を行い、栄養素や大量の水分などが大腸から吸収された場合、サウムは無効になるとされています。ただし、水による腸内洗浄を行ったのち、ただちにその水が汚物と共に排出され、大腸から吸収された水分が微量であった場合は、サウムは無効にならないとされます。

42. ワクチン接種や栄養摂取のための注射は

サウムを無効とするか

サウムは、飲食や性交、またはそれら同然とみなされる行為があった場合にのみ無効となります。通常、注射が飲食と同然の行いであるとは言い難く、よって栄養摂取が目的ではないワクチンなどの接種はサウムを無効としないとされます。ただし、栄養摂取を目的とした注射の場合、サウムは無効になるとされています。また、飲み薬の服用や、点滴や輸血の場合も、サウムは無効になるとされています。

サウムを行えば病気が悪化する、またはその快復が遅れる危険性があるとみなされる場合、その日のサウムを行わなくても構いません。この場合、ラムダーン月が過ぎた後にカダーのサウムを行います。また、サウムを行えば病気になると判断される場合も、同じ規範が

適用されます。可能であれば、信頼できるムスリムの医師の判断にしたがうのがもっとも望ましいでしょう。ただし、これらの場合でも病人自身が望んでサウムを行った場合、サウムは有効となります。この場合、栄養摂取のための注射はサウムを終えてからになります。

43. インスリン注射はサウムを無効とするか

注射には、鎮痛、病気の予防や治療、栄養摂取など、様々な目的や種類があります。通常、注射が飲食と同然の行いであるとは言いがたく、よって栄養摂取が目的ではない注射はサウムを無効としないとされます。ただし、栄養摂取や快楽を目的とした注射は、飲食と同然の行いであるとみなされるため、サウムは無効になるとされています。不足したインスリンを補給するために糖尿病患者が打つインスリン注射は、栄養摂取や快楽を目的としないため、サウムを無効としないとされます。

ササウムを行えば病気が悪化する、またはその快復が遅れる危険性があるとみなされる場合、その日のサウムを行わずとも構いません。この場合、ラマダーン月が過ぎた後にカダーのサウムを行います。また、サウムを行えば病気になると判断される場合も、同じ規範が適用されます。可能であれば、信頼できるムスリムの医師の判断にしたがうのがもっとも望ましいでしょう。快復の見込みがないとされる病気を患っている場合、後でカダーのサウムを行う必要はありません。ただし、その場合はサウムを行えなかった日数分のフィドゥヤを支払わなければなりません。サウム1日分のフィドゥヤは、サダカトゥ・ル＝フィトル1回分です。糖尿病患者も、サウムが健康に害を与えると判断される場合はその日のサウムを行わずとも構いません。のちに快復した場合、カダーのサウムを行います。快復の見込みがないとされる場合、サウムを行えなかった日数分のフィドゥヤを支払わなければなりません。

44. 献血や輸血はサウムを無効とするか

献血はサウムを無効としないとされます。輸血は、生きるために必要なものを身体に取り込むという点において飲食と同然の行為とみなされるため、サウムを無効とするとされます。

45. 人工透析はサウムを無効とするか

人工透析は、腎不全患者が受ける治療のひとつです。栄養素を含む透析液を用いる場合、サウムは無効になるとされます。栄養素を含まない透析液を用いる場合は、サウムは無効にならないとされません。

46. 血管造影や血管形成術はサウムを無効とするか

血管造影は、生体器官の血管内部の状態を可視化し、腫瘍や血管の病気の診断を行う医用画像処理技術です。血管造影は、細いカテーテル（管）を太ももの付け根または腕の血管から挿入し、「造影剤」と呼ばれる薬を目的の血管に流し込みながら、X線撮影をするという流れで行われます。

血管形成術は、先端にバルーン（風船）のついたカテーテルを血管内の狭くなった部分に挿入し、バルーンを膨らませて拡張する血管内治療です。このバルーンは「ステント」とも呼ばれます。

血管造影や血管形成術を受けることが飲食と同然の行いであるとは言い難く、よってこれらはサウムを無効としないとされます。

47. 鍼療法はサウムを無効とするか

鍼療法は、身体に鍼で刺激を与えることで、様々な疾病の治療や健康増進を目的とする民間療法です。身体に針で刺激を与えることは、サウムを無効にしません。また、鍼療法を受けることが飲食と同然の行いであるとは言い難く、よってこれらはサウムを無効としないとされます。

48. 塗り薬や薬付きの絆創膏はサウムを無効とするか

皮膚に塗り薬や油などを塗った場合、それらが吸収されて血液中に到達するのに数時間かかります。また、大量に塗ったとしても血液中に到達するのは微量です。加えて、皮膚に塗り薬や油を塗ったり、薬を含む絆創膏を貼ったりすることが飲食と同然の行いであるとは言い難く、よってこれらはサウムを無効としないとされます。

49. 歯の治療はサウムを無効とするか

歯の治療自体がサウムを無効とすることはありません。また、歯の治療の際に麻酔を受けることも、飲食と同然の行いとはみなされないため、サウムは無効にならないとされます。ただし、歯の治療の際に水、血、薬などを誤って飲み込んだ場合、サウムは無効となり、カダーのサウムがファルドとなります。

50. 歯茎からの出血はサウムを無効とするか

歯茎からの出血自体がサウムを無効にすることはありません。ただし、歯茎から出た血が唾液と混ざり、唾液と同じかそれ以上の量の血を唾液と共に飲み込んだ場合、サウムは無効となり、カダーのサウムがファルドとなります。

51. 錠剤を水なしで飲み込むことはサウムを無効とするか

ラマダーン月のサウムのアダーを行う際、食べ物や薬を正当な理由なく意図的に飲み込むことはサウムを無効にします。この場合、カダーのサウムがファルドとなり、カッフアーラがワージブとなります。食べ物や薬を水なしで飲み込んだとしても、同じ規範が適用されます。サウムを途中で放棄する正当な理由があって薬を飲んだ場合は、カダーのサウムはファルドとなりますが、カッフアーラはワージブとはなりません。

IV 女性とサウム

52. 月経や産褥のときにサウムを行うことはできるか

月経や産褥の状態にある女性がサラートやサウムを行うことはハラームであり、行ったとしても無効になります。この件に関しては、すべてのイスラーム学者の見解が一致しています。月経や産褥の状態にあるために行えなかったサラートについてはカダーを行う必要はありませんが、サウムは同じ日数分のカダーを行わなければなりません。この件に関しても、4大学派⁸⁷の見解は一致しています。

イスラーム学者たちによるこうしたイジュマーウ⁸⁸は、私たちの預言者のハディースとサハーバは、私たちの預言者の時代の女性たちが、月経や産褥が終わったあとでどうしていたか尋ねられた際に、サウムのカダーは行っていたがサラートのカダーは行っておらず、それらは私たちの預言者の指示によるものであったと答えておられ

87 المذاهب الأربعة マザーヒブ・ル=アルバア、イスラーム法学における4大学派。すなわち、イマーム・アブー・ハニーファを学祖とするハナフィー学派、イマーム・マーリクを学祖とするマーリキー学派、イマーム・シャーフィイーを学祖とするシャーフィイー学派、イマーム・アハマド・イブン・ハンバルを学祖とするハンバリー学派である。

88 إجماع! イジュマーウとは、イスラーム学者たちの合意のこと。私たちの預言者が亡くなった後、ある規範に関するすべてのイスラーム学者たちの見解がある世代において一致すること。

ます⁸⁹。

53. イスティハーダ⁹⁰

月経中の女性は、サラートやサウムを行うことができません。行えなかったサウムは同じ日数分のカダーを行わなければなりません。サラートのカダーを行う必要はありません⁹¹。月経の期間には、個人差があります。その日数は、ハナフィー学派の見解によると3日間から10日間とされており、直近の月経日数は「アーダ⁹²」と呼ばれます⁹³。

アーダより短い、または長い日数の出血が続いた場合、それが3日から10日の間なら月経とみなされます。3日間未満で出血が止まった場合、それは月経ではなく「イスティハーダ」と呼ばれます。この場合、行わなかったサラートとサウム双方のカダーを行います。10日目以降も出血が続いた場合、10日目までの出血は月経であり、それ以降はイスティハーダとなります。この場合、10日目までのサウムのカダーは行いますが、サラートのカダーは行いません。10日目以降は出血が続いていたとしても月経とはみなされないため、グスルを行ったのち、通常のとおりサラートやサウムを行います。月経が終わってから次の月経までの期間は「トゥフル⁹⁴」と呼ばれま

89 ブハーリー、ハイド、20；ムスリム、ハイド、69

90 استحاضة イスティハーダとは、女性器から流れ出る血のうち月経や産褥とは見なされないもの。病気や体調不良などが原因とされる。

91 ブハーリー、ハイド、20；ムスリム、ハイド、69；アブー・ダーウード、タハーラ、106；ティルミズィー、タハーラ、97

92 عادة アーダ

93 例えば、最後の月経が5日間続いた場合、その女性のアーダは5日間である。次の月経が6日間続いた場合、アーダは6日間となる。

94 طهر トゥフル

す。トウフルは最短で15日間です。月経が終わってから15日間が経過していないにもかかわらず再び出血が始まった場合、それはイスティハーダとみなされます。

54. サウムのニィヤを行った後、

サウムの時間帯に月経が始まった場合

月経中の女性はサラートやサウムを行うことができません。行えなかったサウムについては同じ日数分のカダーを行わなくてはなりません。サラートのカダーを行う必要はありません。サウムのニィヤを行ったあとで、サウムの時間帯に月経が始まった場合、サウムは無効となるため、月経が終わってからカダーのサウムを行わなければなりません。月経のためサウムが無効となっても飲食を絶ち続けるのは正しくありません。ただし、サウム中の者たちへの配慮として、他人に見られない場所で飲食を行うべきでしょう。

55. 月経を遅らせる目的でピルを服用することはできるか

月経中の女性はサラートやサウムを行うことができませんし、行えなかったサウムについては同じ日数分のカダーを行わなくてはなりません。ピルの服用により月経を遅らせた上でラマダーン月のサウムを行った場合、出血がない限り月経とはみなされないため、サウムは有効となります。ただし、月経とは不要となった子宮内膜の排出など、女性の身体にとって必要な生理現象であり、それを意図的に遅らせることは精神や肉体に害を与えかねません。そのため、月経を遅らせる目的でのピルの服用は推奨される行いではありません。

56. 妊娠中にラマダーン月を迎えた場合

サウムを行えば自分や子供の健康に害があると思われる妊婦や授乳中の女性は、害を被る可能性が低いなら、その日のサウムは行わなくてもかまいません。害を被る可能性が高ければ、その日のサウムを行ってはなりません。可能であれば、信頼できるムスリムの医師の判断にしたがうのがもっとも望ましいでしょう。いずれの場合も、ラマダーン月が過ぎた後にカダーのサウムを行います。

妊娠や授乳が、ラマダーン月のサウムのアダーが免除される正当な理由のひとつであることの典拠は、ハディースです⁹⁵。また「サウムを行えば自分や子どもの健康に害があると思われる」状態は、ある意味では「サウムを行えば病気になると判断される」状態にあると言える点も、論拠のひとつであるとされています。

57. 流産後の出血がある場合、

サウムを行うことはできるか

流産後の出血がある状態でサウムが可能であるかについては、イスラーム学者たちの見解は分かれています。ここでは、流産後の出血を産褥とイスティハーダのどちらとみなすかが論点となります。ハナフィー学派とハンバリー学派の見解によると、胎児の腕、脚、指などの部位が形成されている状態であった場合、流産後の出血は産褥と見なされます。この場合、産褥と同じ規範が適用されるため、サウムを行うことはできません。腕、脚、指などの部位がまだ形成されていない状態であった場合、流産後の出血はイスティハーダと見なされます。この見解について、一部には次のような意見を唱え

95 ナサーイー、スィヤーム、51、62；イブン・マージャ、スィヤーム、12

るイスラーム学者も存在します。「この見解は、あくまでも当時の医学知識を基準としている。当時は、流産の際に子宮から出たものが胎児であるかを見極めるのに、腕、脚、指などの部位が形成されているかで判断するしかなかった。しかし、現代において医学はより発展している。よって、流産の際に子宮から出たものが医学的に胎児と判断される場合、腕、脚、指などの部位がまだ形成されていない状態であっても、流産後の出血は産褥と見なすべきである」。

シャーフィイー学派とマーリキー学派の見解によると、流産後の出血はいかなる場合でも産褥と見なされます。腕、脚、指などの部位が形成されているかどうかは判断の基準とはなりません。この見解に従うなら、流産後の出血には産褥と同じ規範が適応されるため、サウムを行うことはできません。⁹⁶

96 イスラーム法学には、学者たちの見解が分かれている部分が実に多く存在する。本書では、あくまでもトルコ共和国宗務庁の採用する見解に基づいた説明がなされている。正しいところはアッラーが御存知である。

ザカートとサダカトゥ・ル=フィトルの手引き
令和5年3月23日 第1版
March 23, 2023 - Ramadan 1, 1444

制作：財団法人 東京ジャーミイ文書館
東京ジャーミイ出版会
発行：宗教法人 東京ジャーミイ・ディヤーナト
東京都渋谷区大山町1-19
連絡：info@tokyocamii.org

非売品 - NOT FOR SALE





Zakatul Mal & Zakatul Fitr

ZEKAT & FITRE ザカートとフィトル

TOKYO CAMII

JAPAN POST

Branch Code 018

Shukyohojin Nihon Diyanet

10100-96288831

ゆうちょ

支店コード 018

宗教法人日本ディヤナーナト

10100-96288831

MITSUBISHI UFJ

Yoyogiuehara Branch 137

Shukyohojin Nihon Diyanet

Futsu 0011594

三菱 UFJ

代々木上原支店 137

宗教法人日本ディヤナーナト

普通 0011594

Japonya'da 1 kişilik fitre miktarı **2,000 yen**'dir.

Zakat ul-Fitr is **2,000 JPY** per person.

ザカートウ・ル=フィトルはおひとり **2,000 円**になります。





RAMADAN IFTAR DONATIONS & SPONSORSHIPS

イフタルの食事会 寄付・ご支援募集中

TOKYO CAMII

JAPAN POST

ゆうちょ

Branch Code 018

支店コード 018

Shukyohojin Nihon Diyanet

宗教法人日本ディヤーナト

10100-99680061

10100-99680061

MITSUBISHI UFJ

三菱 UFJ

Yoyogiuehara Branch 137

代々木上原支店 137

Shukyohojin Nihon Diyanet

宗教法人日本ディヤーナト

Futsu 0039747

普通 0039747

任意の金額をありがたくお預かりさせていただきます。

ご寄付・ご支援をお待ちしております。

1回のイフタルの費用は **200,000 円**です。

We are grateful to accept any amount of donation.

We look forward to your contributions and support.

The cost for one Iftar gathering is **200,000 JPY**.



